



# 紺 碧

調布稲門会 会報

2013.1 No. 37号

事務局 調布市若葉町 2-22-10

元木 勇 気付

Tel 03-3300-4554

Fax 03-3300-8728

編集責任者 吉田 忠洋

## 新年にあたって

会長 元木勇

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様にはお元気で、新年をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

東日本大震災が起きてから、二度目の新年を迎えました。いまだに、32万人を超える方々が非難生活を送られています。

復興・復旧には、なお多くの時間が必要でありましょう。一日も早い復興を、衷心よりお祈りいたします。

去年は、京王線の調布・布田・国領の3駅が地下に移設され、延べ3.7キロにわたって連続立体交差化されました。これにより、18箇所の踏切が取り除かれ、地上の駅舎や線路の跡地を利用した新たな街づくりが進められています。

今年は、9月から10月には味の素スタジアムをメイン会場としてスポーツの祭・東京2013（国民体育大会）が行われ、全国から多くの人が調布を訪れます。

さて、昨年12月2日（日）に開催されました恒例

の調布市福祉バザーでは、昨年が増えて、多くの品物をご提供いただき、また火を使つての「焼き餃子」は、今年も大評判がよく、幸いにも、当日は好天気にも恵まれ盛況に終了することができ、売上金から

142,968円を社会福祉協議会へ寄付することが出来ました。これも皆様方のご支援、ご協力のたまものと、心よりお礼申し上げます。

当会は、ご承知の通り、会員相互の親睦を深めると共に、地域社会への貢献に務め、早稲田大学の発

展に協力することを目的としています。

今年度も引き続き、会員の拡大に努めてまいりたいと思います。一人でも多くの知り合いの方を誘って、入会して頂けるように、お声をかけて下さい。

「調布稲門会」に入会してよかったです、皆様に思っていただけのような、魅力ある会にしていきたいと、微力ではございますが、努力してまいりますので、引き続き皆様のご支援ご協力をうけ賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



稲門会の原点は、同好会活動です。現在10ある同好会は親睦を深める絶好の機会であり、それぞれが積極的に活動を続けています。

これからも、皆様のご協力で充実させていきたいと思えます。そして、積極的にご意見を取り入れながら、より多くの皆様が参加して頂ける会にしてい

きたいと思えます。

最後に、今後とも調布稲門会に対して、ご支援ご協力ご指導の程、宜しくお願い申し上げ、皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。

## 調布市福祉まつり

岡田 文男

平成24年12月2日、調布市役所前庭にて、『第35回調布市福祉まつり』が開催され、バザーに参加致しました。

福祉まつりは、福祉への理解を深め、福祉活動への市民参加・交流を図ると共に、社会福祉活動を支援することを目的に、毎年12月初旬に開催されています。家庭で眠ったままの贈答品、使用予定のない衣類や書籍、日用雑貨類などを校友、ご近所の方から寄付して戴き、バザーで販売します。バザーの収益金は、社会福祉協議会を通じて福祉団体や福祉施設・作業所に寄付しています。

バザー前日、校友が経営する養護老人ホーム、爽爽荘のホールを作業場所として提供して戴き、集め

られた大量の品々を分類、値踏みして、値札を品物に付け、バザーに備えました。値付けには、女性陣が大活躍でした。

バザー当日は、どんよりとした曇り空の寒い一日でしたが、大勢の方々が集まり、盛況でした。また、焼餃子も販売し、焼きたての餃子は、好評で売行きも上々でした。午後から、かなり値引きして販売致しましたが、早朝のお店の設営、準備から夕刻の後片付けまで全員で頑張った結果、バザーおよび餃子販売の収益金、142,968円を社会福祉協議会に寄付することができました。この成果は、調布稲門会の活動目的の一つである『地域社会への貢献』に寄与できたものと確信しています。

## MEMORY LANE

山田 和子

昨年8月から9月にかけて、夫と共にイギリスへ行って来ました。イギリスは私達家族にとって思い出の地です。2歳の娘を片腕に抱え、もう一方の手で4歳の娘の手を引き、先に赴任していた夫の待つヒースロー空港に降り立ったのが1988年6月。それから約5年間イギリスで暮らしました。(Manchester南のWilmslowで2年半、その後London南のWokingに引っ越し、残りの2年半)早いもので帰国してから20年です。

今回の旅行の目的は、この2か所を訪れ旧友達に会うこと、そして大好きな湖沼地帯とコッツウォルズ地方を車でのんびりと旅することでした。パラリ

ンピックの期間中だったのでLondonは避けAmsterdam乗換でManchesterに行く便を選びました。Wilmslowではかつての隣人JohnとEllieの家に宿泊し、彼らの車で一緒に湖沼地帯へ2泊3日の旅、その後はレンタカーを借り2人でコッツウォルズ地方を巡りWokingへ行き、私と娘達の英語の先生だったSoniaの家に泊めてもらいました。そして再び帰国の為Wilmslowへ。この間、旧友達とlunchやdinnerを共にし、楽しい一時をあちこちで過ごすことが出来ました。昔の思い出話、自分達の健康や退職後の過ごし方など話しているうちに、あっという間に時間が過ぎ去っていました。

私達にとって旧友とは娘2人のクラスメートの両親達、隣人達、そして英語の先生達です。この中の何組かは日本に来た際、我が家に泊まっています。20年間繋がりを持っていてのは、イギリスの流儀に従い、毎年交換するクリスマスカードとそれに同封する1年間の出来事を書いた手紙(時々写真付き)のおかげだと思っています。勿論Emailなど便利な手段も増え、会う約束の日時の調整などが本当に楽になりました。

イギリス生活が始まってすぐに娘達は私立女子校の付属幼稚園に入りました。私は彼女達を幼稚園に送って行きHave a nice time. と言い残して帰ってしまうだけですが、言葉も分からない環境の中で半日を過ごす彼女達はどんなに心細いだろうと胸が締め付けられる思いでした。母親としてせめても出来る事は、早く環境に慣れさせる手助けしか無いと考え、娘達にどのクラスメートと遊びたいか聞き出し、その子達をうちに呼び、遊ばせる事を繰り返しました。

イギリスの学校は保護者の送り迎えが原則です。クラスメートを遊びに連れて来る方法は、親の了解を得た後、担任の先生にその旨を申し出て、その子と一緒に連れて帰りTea(子供の夕食;チキンナゲット、フィッシュフィンガーなどの冷凍食品に少々の野菜が普通)を5時頃に出し、6時頃にその子の親がうちに迎えに来るまで遊ばせるというものです。そして帰り際に、迎えに来た親が今度はこちらの番と手帳を取り出し、その家で遊ばせる日取りを決める

のが一般的なやり方です。こうして私の娘達の遊ぶ機会も増え、また誕生会(それぞれの家がクラス全員を招待;約20名)、学校行事のクリスマス会などに参加しているうちに楽しい生活が送れるようになってきました。私自身も、迎えに行く度にそれぞれの家でお茶をいただいたり、興味深く家の中を拝見させてもらいました。イギリス人は家と庭のこととなると話が止まりません。我が家の改築の時にも随分と参考にしました。

このような交流から、Coffee Morning や Afternoon Tea そして Dinner(夫婦で参加)にと、より深い付き合いになって行きました。イギリス人は日本人ほどではないのですが、shy なところがあります。まずこちらから飛び込むことを肝に銘じ、普通に付き合えるようになるよう努めました。lunch やdinnerもこちらから先に申し出た方が多かったと思います。隣人達とお互いにベビーシッターをしたり、果敢にも日本の家庭料理教室まで開いてしまいました。お雛様も大活躍でした。

イギリスでの生活が始まって半年程は、英語よりロシア語が先に出てきて言葉の苦勞もありましたが今では良い思い出です。一度は海外で暮らしてみたいと若い頃から思っていました。このような貴重な機会を与えてくれた夫に感謝すると同時に、前へ出る勇気を与えてくれた子供達にも本当に感謝しております。

### これぞホスピタリティの極み、ドイツの老夫婦

松野 宏

学生時代からのオペラ好きが嵩じて、今では毎年欧米のオペラハウスを現地に尋ね、ついでにオペラを楽しんでくることを趣味にしています。

オペラは苦手という女房を置いて一人旅、とことん楽しむことができます。

そうしたなかの一つですが、2011年11月、ドイツ

はドレスデン(旧東独)の国立歌劇場とミュンヘンのバイエルン国立歌劇場に行き、伝統と絢爛さを誇る劇場の建物を内外から鑑賞して、オペラを楽しむことができました。

そこで旅のハイライトを一つ。

ドレスデンに行ってくるとアメリカ人で調布のアメリカンスクールの先生をしている女友達に話すと、ドレスデンなら昔ホームステイしたところがあるから紹介する、ドレスデンから車で40分ぐらいのところ、連絡しておく、というので、わかったと了解。その後一泊していかないかと言っていると話があり、これまた、わかったと返事。友達のところだから、お金はとらない、というわけで見知らぬところで、見知らぬお家にお世話になることになりました。

ドレスデンではホームステイ先の夫婦が朝ホテルまで車で迎えに来てくれて、会うなりいきなり頬ずりの挨拶を受けました。ご主人は73歳、奥さんは76歳という高齢者2人。

ご主人はドイツ語しかわからず、奥さんも昔6年間英語は習ったが使うところがなかったと笑ってました。私の英語と奥さんの英語で辛うじてコミュニケーションが取れたという感じで、それでもお互い通じず笑って済ますことも何度かありました。

どこへ行ってもトイレが近い私のために始終トイレはええかと聞いてくれました（観光客が使えるトイレは数少なく、有料が普通）。午後を大分過ぎてから家に行こうと車に乗ったんですが、アウトバーンを時速130キロで1時間余。当初40分ぐらいと聞いていたので精々調布から八王子ぐらいと読んでいたのが大間違い。ポーランドの国境近くの小さな街。えらい遠くから迎えに来てくれたもんだと恐縮。ご主人は現役のころは学校で数学と物理を教えて、傍ら教会でオルガンを弾き、いまでもオルガニストを勤めているとのことでした。

夕食は道隔てて向かいに住む娘さん一家の家で共にし、その後教会でクワイヤー（聖歌隊）の練習があるというので行きました。クワイヤーのメンバーが約20人、そこで歌を歌ってくれといわれ、ではとばかりとっさに選んだのが、「ふるさと」。ドイツ語しかわからない人達に日本語で歌い、拍手喝采。意



味を英語で話しましたが、わかるわけがない。けれど一生懸命説明しました。この「ふるさと」、一人で人前で歌うと、なんとも寂しい歌で、歌の途中で投げ出そうかと逡巡したというのが偽らざるところです。

翌日はその街から10キロはなれたところで戦災に会わなかったという街を見物、ついでに隣接するポーランドの街も見物。午後は自分の友人が金婚式を教会でするから出てみないかと誘われ、参列。式は金婚式をする夫婦の友人、知人、一族郎党が集まり、盛大なものでした。

その後夕刻になってドレスデンに帰るため車に乗りましたが、夜のアウトバーンをこれまた130キロで飛ばし、助手席に座っていて、これが73歳の人ができることかと驚き入りました。

お土産をわが女房の分まで用意され、ホテルでまた頬ずりの挨拶でお別れしましたが、その老夫婦はそこからまた高速で取って返しお帰りになったという次第。無事ご帰宅をと心から祈りました。

お別れしてからそのタフネス、ホスピタリティを思い、自分が反対の立場だったらここまでできるかと自問しました。

イヤ、偉い人にお会いしたものです、友達の友達はみな友達、感謝。

我らの同好会活動のコーナー

ゴルフ同好会へのお誘い

安松 董矩

稲門会ゴルフ同好会は、現在登録会員 38 名で活動しています。

「今年の抱負」は、ずばり「コンペの参加者と新入会員を出来るだけ増やすこと」です。

健康上その他の理由などでコンペ参加者が年々減少してきており、38名の会員のうち、コンペ参加者は各回8名～12名というのが現状です。昨年は4名の方が新しく入会されましたが、日程の都合などで残念ながらまだコンペには参加していただけておりません。今年はこの方々の参加に大いに期待する次第です。また、現在夫人同伴で参加されている会員が3名いらっしゃいます。これからは「夫人・家族・友人の参加、大歓迎！」という事で、出来るだけ大勢の方に参加して頂き、会員相互の親睦を深める賑やかな場にしたいものです。

定期のコンペは、春と秋に「稲門会単独コンペ・三田会との合同コンペ」を各々2回ずつ開催しています。ゴルフ場は交通の便が良く、割安な所を優先して選んでいます。

よく利用するゴルフ場は、《武蔵野 GC、大月 CC、レイク相模 CC、川崎国際 GC、津久井湖 GC》などです。

平成 24 年度は以下のように開催しました。

4月9日(月) 川崎国際ゴルフ場 参加者 12名 (稲門会単独コンペ)

5月17日(木) 武蔵野ゴルフクラブ 参加者 20名 (うち稲門会参加者 8名) (三田会との合同コンペ)

10月10日(水) 武蔵野ゴルフクラブ 参加者 10名 (稲門会単独コンペ)

11月15日(木) 武蔵野ゴルフクラブ 参加者 21名 (うち稲門会参加者 10名) (三田会との合同コンペ)

4月9日開催の川崎国際ゴルフ場でのプレイは、絶好のゴルフ日和に恵まれ、満開の桜のもとで素晴ら

しい一日を過ごすことが出来ました。

本年も春秋各々2回の開催を予定しています。少し早いのですが、春の「稲門会単独コンペ」と「三田会との合同コンペ」は以下の日程で確定しています。

・稲門会単独コンペ 4月8日(月) 武蔵野ゴルフクラブ

・三田会との合同コンペ 5月30日(木) レイク相模カントリークラブ

4月初旬の武蔵野 GC は、桜とミツバツツジが丁度見ごろを迎えているので楽しみです。

初めての方の参加、大歓迎です。ご連絡をお待ちしています。

幹事：安松董矩

(電話)042-488-5726

(携帯)090-2300-9754



尚、入会にあたって腕前を心配する必要は全くありません。上手な方もいますが、“百獣(110)の王ライオン”のお友達もいますので、お気軽にご参加ください。

## いい笑顔を作るために、、、太極拳を学ぶ

石井 宏和

太極拳と聞くと皆さんはどんなイメージを持たれますか？

健康にいい、ゆったりとした運動で、中国の公園で朝、ラジオ体操のように日常的に行われている運動、、、そんなところですかね。

武術から出発している太極拳はもともと素早く激しく動くものだったのですが、それが大きく普及したのはゆったりとした動きの中に体幹を鍛える武術の基礎がしっかり埋め込まれているからでしょう。

日本に太極拳を紹介し、その普及に大きな努力をされたのが楊名時先生であり、楊名時太極拳の産声は50年前に遡るそうです。

その楊名時先生の右腕として先生を支え、太極拳の普及に大きな力を発揮されたのが我が師範中野完二先生ですが、早稲田の文学部を卒業され、現在も調布稲門会の幹事でもおられます。調布稲門会に太極拳の部活を創設しその師範に中野先生をと奔走されたのが稲門会先輩磯田 要氏であり、中野先生の人格にすっかり惚れ込んだ結果と語られています。

以来30年近く部活は調布太極拳同好会として、近隣の住民の皆さまを巻き込み発展し、多くの師範、準師範、指導員を輩出し、単なる稲門会の部活の枠を超えた存在に育っています。磯田 要氏も25年幹事長として会に貢献され、現在は師範として磯田教室を開き太極拳の普及に努められています（小生もその金曜教室の一員でもあります）。

なぜ中野先生の太極拳指導が30年にもわたり多くの人々の支持を得ているのか、、、ですが、小生の丸二年の入会体験では、太極拳の技術指導ばかりでなく太極拳の心が学べるからだと思います。

中野先生はよく眉と眉の間を意識して開けなさいとおっしゃいます。眉の間が開くと自然に眼が下がって笑顔となり顔が優しくなります。顔が優しくなれば心も優しくなります。心が優しくなれば身体もゆったり優しくなるんです、、、これは禅の心とおなじで、太極拳では稽古の始めと終わりに“立禅”をしますが、立ったまま禅の心を学ぶということです。

いい笑顔を作るということが身も心も優しくし、太極拳のまっすぐな正しい姿勢と正しい呼吸法を学ぶことと相俟って健康な心身を築くのです。自らが健康になれば、他人を気遣う余裕も出来、よき友好関係も築けます、、、。

太極の心とはもっと奥深いものと思いますが、中野完二先生の穏やかで品格のあるお人柄からその心が語られるとき、人を納得させ、感動させるのです。

そんな訳で中野先生門下の教室が全国で開かれ、その会員は数千名に上っています。

調布太極拳同好会も大変人気が高く定員オーバー気味ではありますが、本気で継続的に学んでみたいという稲門会員には僅かですが枠を確保するそうです。

これを機に楊名時健康太極拳への関心と興味が高まれば幸甚です。

## 囲碁将棋

早川 政夫

### 沿革

調布稲門会は昭和56年10月31日に誕生しましたが、翌年12月には、囲碁将棋、麻雀、ゴルフ、テニスの4同好会が作られました。（現在は10同好会）。

その後周囲の支援と厚意に支えられ順調に活動を

続けて、本年は30周年の記念を重ねて、現在も定期的に交流会を続けております。平成13年9月には第1回オール早稲田囲碁祭（首都圏）が発足して調布チームはCクラスで優勝、平成17年5月の第5回大会にはEクラスで優勝しました。

### 本年の活動

#### ○月例会

毎月第4日曜日午後1時から菊野台福祉センターで行う。

#### ○新春囲碁大会

1月22日菊野台福祉センターで行う。参加者18名

優勝者 A組柿内8段 B組赤穂3段 C組藤井初段

#### ○夏季囲碁大会

7月22日 日菊野台福祉センターで行う。参加者20名

優勝者 A組河津5段 B組椎原5段 C川島2級

#### ○第12回オール早稲田囲碁祭

6月2日日本棋院で行う。当チーム参加者澤井、大谷、川住、椎原、早川 以上5名

Dクラス出場入賞なし

#### ○第24回調布・稲城・多摩稲門会囲碁交流会

10月28日菊野台福祉センターで行う。参加者18名

優勝者 A組上杉6段 B組白石4段 C組平松3段

### 現状と今後の課題

1, 現在登録されている会員数は22名ですが、その全員が囲碁会員です。将棋のやれる人も数名お

りますが、イベントに集まらずここ数年は将棋の活動は停止状態です。元木会長のご意向もあり名前だけは残して置き将来に託す所存です。

2, 創立以来30周年を経て70代後半の世代が主力であり、このままでは先細り状態です。次世代後輩の入会を強く望みます。

### 囲碁の効用と同好会へのお誘い

囲碁は近年思考力、集中力が養われる効果が注目されて我が早稲田、慶応、東京大学、青山学院等が授業に採用し、又中央区教育委は本年、区立小学校に授業化を提案し16の小学校のうち数校がこれに加わっているとのことです。

老化防止の為にも良い事請け合いです。是非皆様のご参加をお待ちします。

連絡先 早川 政夫 042-487-9610

大谷 暢廣 042-481-0202



### 平成24年度調布稲門会年会費お払込のお願い

会計担当 石井 宏和

平成24年度の調布稲門会の活動も平成25年3月31日をもって終了となります。

期末が近づいてまいりましたので、平成24年度年会費が未納となっている会員様には、本誌と同封にて郵便局の払込票を送らせていただいております。

総会にご出席願えない会員様は特に年会費の払込

機会も少なく、ついうっかり失念されている場合も多いかと存じますが、本年3月末の年度末までにお払込を頂きますようご協力のほどお願い申し上げます。

尚、行き違いにて払込票同封の際はご容赦ください。

(各同好会の代表者と連絡先)

囲碁・将棋：	大谷 暢廣 042-481-0202	社交ダンス：	元木 勇 03-3300-4554
	早川 政夫 042-487-9610	太極拳：	中野 完二 042-485-0523
カラオケ：	小笠原 忠八郎 042-481-6867	麻雀：	濁川 寿次 042-483-6966
硬式テニス：	山本 健治 042-482-6049	ワングル：	舞木 孝治 042-486-0665
	中村 輝夫 042-485-1217		天野 凡子 042-480-2503
ゴルフ：	安松 董矩 042-488-5726	食・歩会：	山田 和子 042-488-0741
フラダンス：	大谷 裕子 042-485-7489		

(今年前半の主な行事日程)

2013. 2. 23 調布稲門会 新年会 (於：調布クレストンホテル)  
 2012. 5. 26 調布稲門会 第32回総会 (於：調布たづくり会館)

<編集後記>

今回も無事「紺碧」を発行することができました。お忙しい中、原稿を執筆して下さった皆様のおかげと感謝しております。この場を借りて、御礼申し上げます。

また、毎回のお願いで恐縮ですが、次号(2013年6月発行予定)に向けて、原稿を書いてくださる方を随時募集しております。ご提出いただける方は、下記Eメールまでお願い致します。テーマは何でも構いません。ご自由にお書きいただければ幸いです。

最期に、今回も石井様の表紙の富士山をはじめ、皆様から素晴らしい写真をご提供していただきました。誠にありがとうございました。(吉田忠洋)

『紺碧』原稿受付Eメールアドレス：tadahiroyo@hotmail.com

<p>展望レストラン <b>たづくり</b> 調布市文化会館たづくり12F 東京都調布市小島町二・三三・一 電話 〇四二・四八二・一六二二 http://www.shinsengumi.com/</p>	<p><b>桜田倶楽部</b> 東京テニスカレッジ 会長 <b>秋山 一</b> 住所 〒182,0017 昭和22政経卒 東京都調布市深大寺元町二・三三・一 電話 〇四二・四八二・三三〇九</p>	<p>深大寺そば 創業文久年間 ご宴会・俳句会・御法事 <b>元祖 嶋田家</b> 住所 〒182,0017 東京都調布市深大寺元町五・十二・十 電話 〇四二・四八二・三五七八 FAX 〇四二・四九九・六六五五</p>	<p>旭化成建材(株)指定工事店 外壁塗装・屋根塗装 <b>株式会社住まいるスズキ</b> 代表取締役 <b>鈴木 光孝</b> 〒182,0023 東京都調布市染地三・五・六五 電話 〇二〇・〇八〇・二四二二</p>
<p><b>林建設株式会社</b> 取締役社長 <b>林 清一</b> 住所 〒182,8512 東京都調布市小島町二・五六・三 電話 〇四二・四八六・二二一〇 FAX 〇四二・四八六・二二〇〇</p>	<p>新しい食文化を創る <b>株式会社山田屋本店</b> 代表取締役社長 <b>秋沢 淳雄</b> 住所 〒182,0024 東京都調布市布田三・一・一 電話 〇四二・四八二・四五八五 FAX 〇四二・四八二・四五七二</p>	<p>早稲田大学商議員 <b>早稲田大学調布稲門会</b> 会長 <b>元木 勇</b> 自宅 〒182,0003 調布市若葉町二・二二・一〇 電話 〇三・三三〇〇・四五五四(代) FAX 〇三・三三〇〇・八七二八</p>	<p>不動産賃貸 <b>中村不動産管理株式会社</b> 代表取締役 <b>中村 俊一</b> 住所 〒182,0035 東京都調布市上石原一・一〇・一 電話 〇四二・四八二・二〇三三</p>